毎月（二回）十日廿五日發行
印刷人　福島縣磐城郡平町大字平字大和田奥平
發行所　磐城之實業社　福島縣平町字新町九十二　電話五二二番
定價　一部金八錢郵稅共　一年分九十六錢　一年分一圓九十錢
廣告料一行五十錢　但廣告所指定增十錢

信用の利害

與平生

◎信用といふものは一言にして云ひ切つてしまふならば、無形のものを有形にして信じることであります、ですから無形が有形に現れそれが變な事由を生じた場合は無形の信用は其の羈絆を離れて世人は欺瞞されつゝあつたことになるのであります

◎聖人が一皮剥かれて僞人になつたりすることがこれであります人は無暗矢鱈に信用されて居た時代に惡德行爲を敢てなしつゝあるものが多いものであります、銀行の重役なども此の例が少くないのであるからして道聽塗說は必ずしも價値がないものではありますまい

◎由來暗中の飛躍をするものに明中の活躍は出來ないものであります、自分自身等が大の窮境に陷つた時には他人を恨まず日頃の道義心に訴へて內省するの勇義がなければ逆の目は決して平常に復歸せぬもので世間は馬鹿のみの集團では無いのです

◎此の明光々たる世間樣を誤歷化さんとするものの一つにいやさ表面を糊塗せんとするに馬力をかけ無い智慧を搾つたものに銀行の考課狀がある、この數字には戒心を加いて欲しいものであります。

◎斯くして經濟記事の影響する所甚大なるを告げ社會民衆の爲めには一部自己本位の奴原の怨さなとは物ともせずに人觸れば人を斬り、馬ふれば馬を斬るの精悍を相して筆劍無碍の士となるべし

◎まづ當期の決算面に休銀以上の內容惡化してゐるものがある、無理の配當を維持し多年鬱積せる不始末をして來た結果は收拾不能の大行詰となり思ひ切つた切解を恐れては遂に基礎を危くするものでお座るぞ世人は既に知り拔いて居るよ。

◎國債證書の手許在高を故意に脫離した處なとは眉に唾して見るべきである これ等は借入金の所謂擔保となつて他の金庫に納まつて居るですから借金を返濟せぬ限りお歸りはないものと知るべし。

◎ボロを覆はんが爲めに不良貸を表面糊塗してある實に狡猾極まる銀行があつたとしたならば民衆は警戒すべきもので斯くしてまでも永續せんとするものの所在は却つて將來禍根を殘す原因ではなからうか、よく〳〵お注意遊ばされたし。

財界恐慌時に地方新聞紙の此の報道は何を物語るものか？

經濟常識に漸く目覺めたる大象

本店銀行の顏色何處にありや

情實本位に迷はす魔手に動くな

憚りながら新聞は社會の淨玻璃鏡た、鏡外に現象なくば鏡面亦一物無し矣とすれば去月二十九日及三十一日の兩日の『磐城新聞』に發載された銀行に關する記事は一種の諷刺畫的で然も平町の本店銀行に對して感慨無量たらざるを得ないのである、由來銀行は法規に示す如く預金の受入と金錢の貸付又は手形の割引とを併せ爲すことゝ爲替取引を爲す事を目的とするものであつて見れば社會性のものであることは今更に書くまでもないが此の社會性の觀念に最も富んで居る經營をなしつゝあるのが七十七銀行の平支店でありと云へよう、深甚の注意を以て左記の文章を讀めは地方民衆は感謝の意を表せざるを得ない

會性の觀念

○○は噴火山に在るを裏書してあるではあるまいか一皮剥いて見れは五十歩百歩の動脈硬化症に犯されつゝある彼の運命や又危險なるかなであるが去るにても七十七銀行平支店の如きは拾萬二十萬と大口爲替の取扱へ日々に多きを加へ預金の如きも逐日增加しつゝあるに、さても銀行の使命と職能とを盡せぬものありとせば民衆は警戒すべきで悪い噂の立たぬ處へお金は預けべきであると知るべし

前記事を諳了して驚異に値するものは爲替取引の出來得ないことを雄辯に物語つて居るもので要するに○○

平町の中心地たる三丁目中央に開設されて以來全く堅實其のもの、如き營業を續けつつある七十七銀行平支店が過般の常磐地方未曾有の財界大動亂に直面するや從來地方に於ける最少壯の實業家として知られてゐた小原支店長を本店課長に拔擢、新に同行有數の敏腕家たる新人山田勇次郎氏を支店長に迎ゑ更らに此の未曾有の大動亂期來に依つて各地銀行界は一齊に縮を決行したのに相反し反つて此の大動亂時に於ける一大雄飛を爲すべく計畫遂に本店三浦幸治氏を副支店長として迎ゑ支店事業の一大擴張を決行するに至り今や全くドン底の不況に沈む地方財界からは驚異の眼を以つて注目されてゐるが此の平支店をして一大飛躍の前提として擴張を決行するに至つた七十七銀行本店は七百萬の巨資本を擁し總預金額實に五千二百萬圓と言ふ巨額に達し現金三百五十餘萬圓と約九百萬圓の有價證券をゆうしてゐる加之東北實業界の大立者伊澤平左衞門氏を頭取財界ゆう數の偉物中村梅三氏が專務取締役と言ふ巨人陣容は東北銀行界の新者として充分の價値あるもの以上の如き堅實なる本店をゆうする平支店が更新せる山田支店長以下の新陣容を以つて新に樹立したる一大飛躍策に向つて猛進せんか當地方界の新機を握るは疑しゆん時同支店今後の活躍は當地方のみならず全縣下注目の焦點となつてゐる財かい未曾有の大動亂時に當つて同支店が遂然として王者の如くけん實なる營業方針を續ける一方此の一大擴張を決行した事は現下の地方財かいの窮狀をこう生せしむる爲めに眞に意ばしき事であると地方民は何れも同行の今後の發展を期待してゐる

是れが全紙二十九日の報道で越いて三十一日には『有力銀行を迎えて將來の安全策常磐炭礦の聯合協議會に高唱された支店設置の要』と大々的題下に左の記事あり

常磐地方三井、大倉、磐城、古河入山、太日本、福島の各炭礦聯合協議會は礦長會議を開れ去る二十七日湯本町松柏館に於て開會されたが、時たま〳〵妥當の問題として各炭礦當事者が共に考慮を拂つゝある取引銀行の撰擇に就き業勞働團体は磐城銀行今回の休業に就ては幸ひ事無きを得たけれども今後若し此の種の事由により資金の滯滯から勞働賃金不拂ひ等の事なからしむる樣切望してゐる向きもあり、のみならず斯かる不測の災を見る如きことあつては社業の運行上實に由々敷問題なりとし彼の磐城銀行營業休止以來の各炭礦では所謂石橋をたたいて渡れ主義の大事となり古河、大倉、入山各商社は水戸市川崎第百銀行支店と取引きを開始し三井は本社より現金托送をすると云ふ現狀にありて此の不便は何れも到底長く耐ゑ得るものに非ざれば此の際絕對的信用の出來る東京某一流銀行をして常磐に一個所支店を設置せしめ相互の利益と安全策を恒久的確立すべきであるとの意見が高唱され大多數は之れが實現の爲め積極的運動に移ることゝなつたがこの種の意見は最近可成りゆう力な輿論となつて現はれたから何れ早晩に實現さるゝものゝ樣に觀測されてゐる

農銀の成績

本縣農工銀行の今期成績は五千圓、低利融通資金七十萬圓を中央から仰ぎ四百二十萬圓の貸付けを結了した前期に比するに貸付けに於ては百一銀行の增加を示してゐる、又今期間に發行したる農工債券は三百八十萬圓に達し前期に比して二百二十萬圓の增加となり今期末の債券總額は千二百九十萬圓である、尙ほ今期は金利の低下したるを機會として八分乃至八分二厘以上にて發行したる三百七十萬圓の高利社債を償還する爲め低利社債を發行し其內三百萬圓を償還し七十萬圓は之を後期に繰越した貸付けの增加、債券の發行から總バランスに於て二百九十萬圓を增加し利益も著しく增大して豫想外の成績を擧げたのである。

本縣株式況

株名	拂込	仲値
福島農工	三〇、〇〇	三、五〇 末拂込資本金 三、五〇、〇〇〇、〇〇
同 新	一五、〇〇	一六、一〇 線路屋內工作物 五二、六六一、八四
百七銀行	五〇、〇〇	三、〇〇 機械器具貯藏品 六五、三六、四〇
同 新	三、五〇	八、五〇 及土地建物什器 一五、九〇〇、〇〇
福島貯蓄	三、五〇	六、〇〇 有價証券 五五、一九〇、七〇
同 新	五〇、〇〇	四、〇〇 假拂金 六九、〇九九、六六
平銀行	三、五〇	八、五〇 受取手形及
同 新	五〇、〇〇	五、〇〇 未收入金
磐城銀行	五〇、〇〇	三、〇〇 發電所勘定 一、六二、四七、一六
磐越銀行	五〇、〇〇	九、〇〇 變電所勘定 一二四、三八、八五
同 新	三〇、〇〇	七、〇〇 預ヶ金及現金 二三八、〇一三、五六
四倉銀行	三、五〇	合計 六、四六〇、八四〇、二六
磐東銀行		資買ナシ 資買ナシ
磐城實業		負債之部
三春銀行	五〇、〇〇	資本金 五、〇〇〇、〇〇〇、〇〇
白河商銀	五〇、〇〇	諸積立金 一八、七六六、〇〇
川俣電氣	五〇、〇〇	社債及借入金 三、八七一、一一〇、〇〇〇、〇〇
會津銀行	五〇、〇〇	支拂手形及 四〇、〇〇〇、〇〇
同 新	二五、〇〇	未拂金 一、三〇〇、〇〇〇、〇〇
安達實銀	五〇、〇〇	未拂配當金 三〇、〇〇〇、〇〇
二本松銀	五〇、〇〇	當期利益金 五、〇〇〇、〇〇
同 新	二五、〇〇	合計 六、四六〇、八九〇、二六
郡山商業	五〇、〇〇	利益金處分
郡山合同	三、五〇	當期利益金 九七、八五三、〇四
須賀川銀	五〇、〇〇	內財產減價償却 一五、〇〇〇、〇〇〇
同 新	一八、五〇	社債利子引當 八、四七、五〇
五千圓、低利融通資金七十	五〇、〇〇	諸積立金 五、五〇〇、〇〇〇
萬圓を中央から仰ぎ四百二	二五、〇〇	役員賞與金 四、〇〇〇、〇〇〇
十萬圓の貸付けを結了した	三、五〇	株主配當金 六三、五〇〇、〇〇〇
前期に比するに貸付けに於	五〇、〇〇	後期繰越金 二、四五、五四
ては百一銀行	七、〇〇	昭和參年六月參拾日
同 新	二、〇〇	
福島電燈	四〇、〇〇	
同 新	二七、〇〇	
同 新	八五、〇〇	
福島貯蓄	四八、〇〇	
同 新	四七、〇〇	
平銀行	二五、〇〇	
同 新	五〇、〇〇	
磐城銀行	二七、五〇	
磐越銀行	五〇、〇〇	
同 新	三〇、〇〇	
四倉銀行	五〇、〇〇	
磐東銀行	二五、〇〇	
磐城實業	二、五〇	
三春銀行	五〇、〇〇	
白河商銀	五〇、〇〇	
川俣電氣	五〇、〇〇	
會津銀行	五〇、〇〇	
同 新	二五、〇〇	
安達實銀	五〇、〇〇	
二本松銀	五〇、〇〇	
同 新	二五、〇〇	
郡山商業	五〇、〇〇	
郡山合同	三、五〇	
須賀川銀	五〇、〇〇	
同 新	一八、五〇	
福島電燈	五〇、〇〇	
同 新	二五、〇〇	
同 新	三、五〇	
福島電鐵	五〇、〇〇	
同 新	二七、五〇	
同 新	五〇、〇〇	
白棚鐵道	五〇、〇〇	

株式會社　植田水力電氣
取締役社長　金成通
取締役　安島重三郎
取締役　白井博之
取締役　高岡唯一郎
取締役　小林藏次
取締役　古川傳一
監査役　根本祐太郎
監査役　馬上誠一
追而取締役任期滿了ノ處改選ノ結果全員再選就任セリ

第拾七期營業報告

（昭和三年上半期）

貸借對照表

資產之部

負債之部

山崎合名會社代表社員と平銀專務取締役は頭取との肩書を有する山崎與三郎氏は

敢て商法に違犯せざるか

果して違犯行爲とせば速かに何れかを辭任すべし

株式會社平銀行專務取締役四月二十一日付登記に依れば頭取たる山崎與三郎氏は一ば醬油ソース、味噌食料品而壺屋の旦那として醬油味製造業、物品販賣業、有價噌製造販賣業をなしつゝあつたが何を感じたものか去る大正十四年十一月四日付を以て平町古鍛冶町三番地の建物十五棟此價格二萬五千圓を出資種類中に入れ尙八萬五千圓を出資して商號山崎合名會社の登記を受け其後昭和二年一月二十一日付にて前記建物を現金二萬五千圓と變更し更に

本年五月五日四萬圓を出資し總出資額十五萬圓となし頭初より代表社員となり居つた事には不思議はなかつたが此處に不可解不可思議事の發生せるは本年四月二十一日付登記に依れば平銀行は然も常任監査役たる新田目善次郎君が此合名會社の設立には勿論相談もされず獻策もしたことであつたらうに……元來合名會社なるものは相信用せる數人が連帶無限の責任を以て組織せる會社でなくてはならない故に各社員皆平等の權利を有し毫も其間に差等あるべからずであれば定疑にて別段の定めないときは各社員何人にても會社の業務を執行の權利を有し又義務を負はざる可からずである是所謂人會社の人會社たる所以である

然し代表社員を定め其の撰に與三郎氏がなつて居る以上正しく商法第百七十五條の違犯行爲と見るべきで此の承認されない筈である

是れをして法律家たる常任の新田目監査役と賢明なる吉田監査役とは

何なる處置を取るか見物である

果して違法行爲であるとするならば山崎氏は合名會社の設立に依つて既に

兎角の批判

を受けつゝある折柄であるからして平銀歷史の爲めに斷然辭任して切角造り上げたる醬油味噌等の製造販賣の爲めに安全策をとつたがよいではないか。

石城郡郷土大觀

白熱的の大觀迎

『石城郡郷土大觀』は石城郡內の文獻者の手に依つて編纂されしに非らずして遠く水戸市會議員にして史學に通曉せる文章家黑澤常葉氏の努力にて今回發行され郡

錢貸付業

銀行法に抵觸するには非らざるなきか

商法第百七拾五條には取締役ハ株式總會ノ認許ヲ得ズ

取締役ガ前項ノ規定ニ反シテ自己ノ爲メニ商行爲ヲ爲シタルトキハ株主總會ハ之ヲ以テ會社ノ爲メニ爲シタルモノト看做ス

前項ニ定メタル權利ハ監査役ノ一人カ其行爲ヲ知リタルトキヨリ二箇月間之ヲ行ハサルトキハ消滅ス

行爲ノ時ヨリ一年ヲ經過シタルトキ亦同ジ

此處に於て思ひ起すのは世間からは鹽屋の顧問辯護士と呼ばれ平銀行では然も常任監査役たる新田目善次郎君が此合名會社の設立には勿論相談もされず獻策もしたことであつたらうに……元來合名會社なるものは相信用せる數人が連帶無限の責任を以て組織せる會社でなくてはならない故に各社員皆平等の權利を有し毫も其間に差等あるべからずであれば定疑にて別段の定めないときは各社員何人にても會社の業務を執行の權利を有し又義務を負はざる可からずである是所謂人會社の人會社たる所以である

然し代表社員を定め其の撰に與三郎氏がなつて居る以上正しく商法第百七十五條の違犯行爲と見るべきで此の承認されない筈である

是れをして法律家たる常任の新田目監査役と賢明なる吉田監査役とは

何なる處置を取るか見物である

果して違法行爲とするならば山崎氏は合名會社の設立に依つて既に

兎角の批判

を受けつゝある折柄であるからして平銀歷史の爲めに斷然辭任して切角造り上げたる醬油味噌等の製造販賣の爲めに安全策をとつたがよいではないか。

石城郡郷土大觀

白熱的の大觀迎

『石城郡郷土大觀』は石城郡內の文獻者の手に依つて編纂されしに非らずして遠く水戸市會議員にして史學に通曉せる文章家黑澤常葉氏の努力にて今回發行され郡の沿革より說き起して舊領主と領主の其變遷及明治以後の變遷と郡內各町村の沿革、神社寺院、名所舊蹟、雜觀、人物等郷土研究には唯一の寶典で其編纂振り頗る親切を極め一卷よく全郷土を古今に通じて判明せしむる等快著とすべく郷土人は是非共座右に置くべし發行所は水戸市上市元白銀町一五二番地郷土顯彰會で定價も廉なる由。

財界夜話

◇銀行法施行細則第九條に曰く銀行が公告すべき貸借對照表は大藏大臣に提出する業務報告書の一部たる貸借對照表と同一の樣式によるべきこと、前項の貸借對照表は取締役及監査役全員の氏名を附書すべしと有是れに反す株主總會への提出せる原案は勿論無効で總會やりなをしではないか、こんな手ぬるい銀行がそんちよ其處にありはせぬかいな。

◇資產の部で有價證券勘定に國債所有は堂々たるもだが是れが借入金融通の擔保として他行に提供して居るのを世間樣や株主マツタ預金者を安心かけんとして欺瞞的にも內手許在高の僅少なるを恐れてワザとこの頂を落したなとは遺憾なく僞人の本性を發揮して居るではないか斯の如くだから世人は大々的の注意を要する

◇爲替關係で銀行が信用なくなれば他店貸が多くなつて他店借が少くなるのである、即ち他行が一齊に警戒するからである、他店貸が二十余萬に對し他店借が僅々四萬位とはこれで銀行の使命が全しと得るだろうか現金輸送の程もお察しする、一体戶を下す遠因は先づ爲替尻の銀行がそんちよ其處にありはせぬかいな。

◇資產の部で有價證券勘定に國債所有は堂々たるもだが是れが借入金融通の擔保として他行に提供して居るのを世間樣や株主マツタ預金者を安心かけんとして欺瞞的にも內手許在高の僅少なるを恐れてワザとこの頂を落したなとは遺憾なく僞人の本性を發揮して居るではないか斯の如くだから世人は大々的の注意を要する

◇爲替關係で銀行が信用なくなれば他店貸が多くなつて他店借が少くなるのである、即ち他行が一齊に警戒するからである、他店貸が二十余萬に對し他店借が僅々四萬位とはこれで銀行の使命が全しと得るだろうか現金輸送の程もお察しする、一体戶を下す遠因は先づ爲替尻のおちない事などからで同業者間に信用なければたち行くものでない、夫れで借入るには擔保物が飛んで居るとしたならば預金證書一枚を後生大事に箱笥の奥深く藏して居る勇氣ありや否や、其邊に物語りつゝあるものがある。

◇預金が前期より少いのに證書貸付や手形貸付及割引手形の多くなつて居るのは現金利息の收入に非すして紙一枚で物を云ふ即ち不良貸の多くなつて來た証左である是又危險なるかなである。

◇ロクに金などありもせない癖に空威張の勇氣があるのには恐れ入る、借入申込に對して何の彼のと文句を付けての切拔けに今時分の民衆は誰れでも知つて居る、あの郵便時金の日々に增加するのは何の証據でご座る。

感想

平　け

世忘れることの出來ない憂き目を見たのである。

警察署―それは決して怖いでは無い寧ろ親しみのあそして吾々の爲めに常に不眠不休で働いて呉れる最も溫情味の多い人達が居る處だと思つて居た、それが全く裏切られて最も恐ろしい亂暴極まる人達が居る處のやうに思はれた、吾々は法律に依らずして逮捕監禁審問處罰を受くる事の無い憲法上の保障を有して居るのだ、それが不可思議にも昭和の今日七月十日の夜それに悖るが如き事實を自分は現實に体驗したのだ。

同夜八時頃近所の山野邊辯護士と連れ立つて平劇場に開かれた磐銀批判演說會の前に展開された磐銀批判演說會の

傍聽に行つた、自分は目前に一大災厄に見舞はるゝとは夢にも知る筈がない平氣で傍聽して居た、軈て演說進み寄つた、偶々警官中豫て面識ある某高等刑事が居あつた、自分の胸に一つ自分の言ふことには耳を籍して呉れなかつた、自分は逃げ隱れもしない事もあつた、自分に下足を取ることも許さないばかりか何を捕へて警察署へ拉致せんとした某巡査は殊に無情で自分は拉致せられたのである。

其日は遮二無二全氏を捕へんとした。此の時自分の頭には何物も無かつた、只この暴小雀のそれの如く只命之れ從つた、自分の左手頸部と暴だ全く非常識な處置だ、此の昭和聖代にあり得べかの沿革より說き起して舊領主と領主の其變遷及明治以後の變遷と郡內各町村の沿革、神社寺院、名所舊蹟、雜觀、人物等郷土研究には唯一の寶典で其編纂振り頗る親切を極め一卷よく全郷土を古今に通じて判明せしむる等快著とすべく郷土人は是非共座右に置くべし發行所は水戸市上市元白銀町一五二番地郷土顯彰會で定價も廉なる由。

世忘れることの出來ない憂き目を見たのである。

警察署―それは決して怖いでは無い寧ろ親しみのあそして吾々の爲めに常に不眠不休で働いて呉れる最も溫情味の多い人達が居る處だと思つて居た、それが全く裏切られて最も恐ろしい亂暴極まる人達が居る處のやうに思はれた、吾々は法律に依らずして逮捕監禁審問處罰を受くる事の無い憲法上の保障を有して居るのだ、それが不可思議にも昭和の今日七月十日の夜それに悖るが如き事實を自分は現實に体驗したのだ。

同夜八時頃近所の山野邊辯護士と連れ立つて平劇場に開かれた磐銀批判演說會の前に展開された磐銀批判演說會の

傍聽に行つた、自分は目前に一大災厄に見舞はるゝとは夢にも知る筈がない平氣で傍聽して居た、軈て演說進み寄つた、偶々警官中豫て面識ある某高等刑事が居あつた、自分の胸に一つ自分の言ふことには耳を籍して呉れなかつた、自分は逃げ隱れもしない事もあつた、自分に下足を取ることも許さないばかりか何を捕へて警察署へ拉致せんとした某巡査は殊に無情で自分は拉致せられたのである。

其日は遮二無二全氏を捕へんとした。此の時自分の頭には何物も無かつた、只この暴小雀のそれの如く只命之れ從つた、自分の左手頸部と暴だ全く非常識な處置だ、此の昭和聖代にあり得べかの沿革より說き起して舊領主と領主の其變遷及明治以後の變遷と郡內各町村の沿革、神社寺院、名所舊蹟、雜觀、人物等郷土研究には唯一の寶典で其編纂振り頗る親切を極め一卷よく全郷土を古今に通じて判明せしむる等快著とすべく郷土人は是非共座右に置くべし發行所は水戸市上市元白銀町一五二番地郷土顯彰會で定價も廉なる由。

行の機能を益々發揮しつゝある七十七平支店

貸出しを盛んに地方財界助かる

去る七月中に於ける平郵便局の貯金總高四十萬に對し拂戻十萬差引三十萬は從來の爲め引出したる此の情勢は何物かの不信用と危險を雄辯に物語るもので毎月幾十萬かの郵便貯金は愈々或者をして深刻に民衆は警戒しつゝあるものであらう

然して此時に當り七十七銀行平支店は預金百萬に貸出百二十萬を突破し益々地方經濟界の爲め貢献少なからず日に〳〵新取引者の多きを加へ過般磐城炭礦へ十余萬圓を某行の貸出違約を見越せしが如き昨今は實力の逋せしが如き昨今は實力の雄大さを如實に之を示し居るより從つて預金の如きも激増し又爲替の如き同地方の取引銀行の觀を呈し而して同支店の陣容左の如し

支配人　山田勇太郎
副支配人　三浦幸哉
預金及貸付係　小岩嘉吉
爲替係　落合新一
預金及爲替係　菅谷良之介
出納係　佐藤久雄
計算係　細谷武雄

南町△△△界隈

闇に浮動する人肉の群（一）

◇　◇

彫花狂蝶……闇黑裡の痴態界との連鎖として居るのは是れなん夜の南町一圓を云ふ代名詞であらう、魔窟探檢記は淫蕩頽廢的氣分が旺盛の鼠泣きよろしく開放の大膽不敵さの醜態振りの鼠泣きよろしくなりつゝある現今ではあながじの醉狂でもあるまいと大勇氣を出しての記者の本職に探訪することゝなつた『本當に宜いんでしよう』『洋服さん！』などと、その服裝の相違で呼ぶ代名詞の本職に探訪することゝなつが夜の十時過には此の町一体の前後左右から連發されて來て、しかも隙あらば腕を捉へやう、袖を捉へて放狂態を演じ終つたかの如き遊ばされて『ちよいと旦那てば……』のご宜託にご持參の捲莨を鼻でブカ〳〵燻し初めたその醜さな態度には耐へられない程であつた。

◇　◇

『ちよいと旦那……』

◇　◇

廣い明るい浮世を殊更に狹く暗くして日を送る人肉の彼等の毒舌は、火焔のやうに若人の身邊にからむ、若い人はこれに對して非常な好感を覺え親兄弟にすら話せない惡事を働くのが常であるとも云へよう。

◇　◇

やつと身体が入るやうな狹い玄關の上り端に二三疊の間に二三人が大形の布團に鎮座ましまして腰障子にハマつた僅かのガラス窓を外

『旦那お酒召上るんでしようね……』と先づボル底の矢は遠慮なく放たれた、が然し醉態を粧ふてゐる記者の耳には入らざるものゝ如く早速にお茶を命じた其時彼等の御機嫌は頗る不滿らしく又意外らしかつた、この酌婦の今や下へ行かんとする出合頭に又一人の二十三四の妞さん株らしい女が

『ちよいと旦那てば……』

のご宜託にご持參の捲莨を鼻でブカ〳〵燻し初めたその醜さな態度には耐へられない程であつた。

◇　◇

『サア此所では飲まないが醉ふてゐるから歸さない事よ何だつて歸さない事よ』と記者の膝に手をかけて搖ぶる、咄々？彼等は斯くして其の本來の目的を遂行しやうとするのである、これでは迚も應戰覺束なしと見てとつた記者はさも思ひ出した樣に

『幾錢で遊ばれるのだ』

『さうねエ、此のお茶代が二圓、それに一圓五十錢ください』

咄々ほざきたりや蒸菓子僅か十五個で金二圓とは……記者は手をかへ品をかへ質問の矢を放し結局大枚圓助を以て大團圓を告げしむべきまでに漕ぎ付けたが俄然或者に目がとまる探檢記は愈々これより佳境に入りアラレモない醜情は頗る安價に取引されるのである。

磐城和洋音樂會前景氣

經濟新聞、立憲新報、東北實業新聞の三社聯合主催にて來る十四日午後六時より小名濱町小學校講堂に於て磐城和洋音樂會を開催する由にて全地方は今より前景氣素晴らしく平地方よりも小名濱の天下になるものであることを豫言する。

◎　◎

統計から見た本年度の石城經濟情勢は第三種所得決定員は千二百十三人この所得の總額が二百九十一萬五千九百二十七圓で先づ牧養採取業所得十一萬八百四十七圓、貸金その他預金所得約八萬三千二百七十六圓で何れも前年に比較して前者は六萬五千三百七十圓、後者は二萬三千四百十八圓の急激なる増加を示してゐるのは小名濱や豊間の大敷網のお除やら從來の信用貸が不安定の財界による倚權擁護の登記貸金に據替られた結果と思推される、田畑所得は四十五萬七千九百四十八圓は前年より九萬七千百六十七圓の減額は米價低落が物語り商工業所得九十四萬五百四圓は十萬二千五百二十三圓前年より急轉減である、會社配當俸給々料賞與の七十萬八千六百三十七圓貸家貸地所得二十五萬二千三百三十七圓應業所得十八萬七千二百二十三圓山林所得七萬二千八百二十八圓其他の所得十萬一千三百二十七圓以上は何れも前年よりくらべれば五分乃至は一割二三分の減差であるのは不景氣な萬事に物語つて居るのである。

◎

七十七平支店の山田、三浦、小岩の諸君は快活な親切味のある温情に富んだ青年紳士であるとはうれしい。

實業放送局

◇……磐城立憲新報の去月二十日の紙面は一面から三面迄殆んと全紙面が銀行記事等で賑へてゐたのは近來の讀物であつた。

◇……磐城公論七月三十日號は綠雨君專賣式の妙文に注意を要することである

◎

さても小玉川電氣の募株で笑はせることは『特に・プレシャムを附せず』の文字である、今時の新設會社でプレシャムは振つてゐる、よろしく一般募集などはせずに從來の例に習つて端山君か山崎氏あたりに末廣の奥座敷でも相談して引受けて貰つては如何に候や。

◎

後者の平魚市場は是れは最も見込ある有望株である、堅實の加納氏が創立委員長であつて又株式も小さい、これに數年前力進社問題で數百圓も買收費を自腹を切らせた作平君が其の衝に當つての活動であつて見れば彼の例の男などは眞先に三百株位は申込まなくてはならない義理合があるのに一株も應じないとは僞人も此處等までに薄情になれば最後の逃げ場所を造るのも道理と云ふものであらうか。

◎

其れ地方産業界のため株式募集フレ――〳〵

株式往來

◎

突如と云へば多少形容すぎるが我石城の天地に最近株式組織の會社が三ッ創立せられんとして昨今大車輪の株式募集中である、曰く二百萬の磐城片倉製糸、曰く七十萬の小玉川電氣、曰く七十二萬の平魚市場である。

◎

前者の製糸會社は百萬は片倉組の持株で其の半額の百萬、此の四分の一拂込み二十五萬が磐城地方から應募させると云ふ段取り、目下の財界不況時に隨分と大義でもあり色々と噂さもあつて發起人は最大の馬力をかけつんばなるまい。

◎

扨此の拂込場所に農工平支店、平銀行の二行のみで本店銀行の磐越が無いこれはあまりに中野氏を閑却した仕打で又地方銀行の信用を防害した事にもなる、地方に設置される大會社はよろしく出發點からして周圍の事情に注意を要することである

◎

さても小玉川電氣の募株で笑はせることは『特に・プレシャムを附せず』の文字である、今時の新設會社でプレシャムは振つてゐる、よろしく一般募集などはせずに從來の例に習つて端山君か山崎氏あたりに末廣の奥座敷でも相談して引受けて貰つては如何に候や。

◎

後者の平魚市場は是れは最も見込ある有望株である、堅實の加納氏が創立

◎

加藤丈夫君今度平銀行株を二百十三を買タシテ八百六十七株第六位の大株主となつた、來る一月の總會では取締役と云ふ段取かしら其れから次期の縣議戰には吉平君の後釜と云ふ事なども亦しかの處だらう、永山君や草野君や伊藤君なども野心があれば今後にまする努力すべきものである。

◎

釜屋の諸橋元三郎君姓名判斷學の研究空しからず愈々大々的の折紙がついて實に敬服に値すると云ふことが今回發見された、即ち宣圓叢書第一編大正未來記は大正十四年十月の發行その書中に年月日までもピタリと符合した今度の床次竹次郎氏の脱黨騒ぎが明々白々に記載されありしには夢と空恐ろしい程でこれでは何でもかでも絶對信用せざるを得ない。

◎

中野祭禮頭取、總會に於て滿場一致を以て特別賞與金を贈らる、これで手腦努力に一段の光が出たといふもの、君たるもの今日では何にも平銀行あたりに遠慮はいらぬもの堂々活動し奮闘し給ひ將來は君等の天下になるものであることを豫言する。

◎

統計から見た本年度の石城經濟情勢は第三種所得決定員は千二百十三人この所得の總額が二百九十一萬五千九百二十七圓で先づ牧養採取業所得十一萬八百四十七圓、貸

藝妓さまお稼ぎ高お調控帳

◇……平新報山野邊主幹近來愈々健筆を振へ發行期日も決して間違はずの奮闘振りは大いに期待されて毎號の發行を民衆は鶴首してゐる。

◇……磐城經濟紙や東北實業紙などは近々經濟記事滿載で發行する噂である、其處もとさまなどで頗る恐れをいだいてゐるものもあらう但し惡因惡果の佛道はよゞなきこと。

◇……磐城立憲新報の去月二十日の紙面は一面から三面迄殆んと全紙面が銀行記事等で賑へてゐたのは近來の讀物であつた。

◇……磐城公論七月三十日號は綠雨君專賣式の妙文に注意を要することである

× ×

此の不景氣時に華やかな紅燈、色街を彩る夜毎の仇情、ほつれを撫る噂話につゝ立耳したのが身の因果と諦めきれぬこの世の無情、昨日の花では濟まされぬ意地つくめ、幾夜流いたか血をはく時鳥なとゝ多情多恨の筆法での花柳記事ではご座らぬ數字の數々。

× ×

平の藝妓と云へば大小〆で一分間に二厘三毛で二十四時間ぶつ通しの一日三十圓七十二錢、年を通じての不眠不休とならば一萬三千余圓、平大臣よりもあるかに高い俸給取りとあつては驚き入り申候。

× ×

此の一本の線香代六十四錢から料理屋への揚錢十六錢六厘と組合費一錢九厘遊興費四錢四厘を控除しての正味四十一錢五厘が藝妓屋主人公の懐へ粹樣等から遠慮なく這入るゐん稼き高にて候……。

× ×

鼻下を長くしてご注文通のよい人になれば先づ七八本から十二三本はおゐで遊ばしての特別會計として金一封は新規取引では大枚五兩から昨今の不印では三圓往來ときて、後は定期預金の支拂猶豫も出來るのだから玉のコナシテ案外格安にも政策本意で遊べることになる……さてもこゝらで筆止めあら〳〵かしこ。

支那南北休戰中
突如平町に革命兒現る

新案特許フワイバー製シガレットケース（卷煙草入）界なる本品はフワイバーと稱し麻のセン維より作つた米國製絶絲紙で強靭無比の物です強くて安く經濟殊にマッチ附で輕便至極であります、ニセモノあり キング印に御注意を乞ふ
發賣所は煙草小賣所其他

◎シガーケース黑口付入金二十錢　黑兩きり入十五錢
◎シガーケース赤口付入金十五錢　赤兩きり入金十錢

福島縣下一手販賣所　平驛前　平デパートメントストアー

シガレットケース部

暑中御見舞申上候
磐城立憲新報社
小泉宗雄
平町舊城跡

三益玉炭の御奬め

○ッの玉炭は三非物產株式會社が多年研究の結果發明した木炭代用の高級燃料です
○ッ玉炭の特長
第一無煙無臭で取扱ひ頗る便利です
第二火付がよく火力が强く、しかも値段は木炭の三分の一で間に合ひますから一度御使ひになればどんなに便利でどんなに安いか直ぐわかります
◎値段は一箱金貳圓（玉炭の個數約八百個）
◎見本品御入用の御方は御申出下さい無料で差上ます

平驛前　**阿部石炭商店**　電話二三七番

七月拾壹日ヨリ日本銀行代理店ヲ引受候ニ付國庫ニ關スル事務ハ一般銀行事務ト共ニ便宜取扱申候
昭和三年八月
株式會社平銀行

高級車乘合定期運轉
好問——平間
各方面貸切、迅速、低廉、親切
三井自動車部
電話　晝一五六番　夜八番

良品廉賣に勝る商略なし
磐城セメント特約販賣店
和洋銅鐵金物問屋
釜屋商店
磐城平町五丁目一三九番
電話九番
振替貯金口座東京一〇九五六番
諸橋久太郎

確實敏捷は㊫の生命なり

良品の普及に國境なし
△養蠶用寒暖計各種　△農藥用消毒殺虫藥
△共同購入者には特に御相談

中風靈藥
一週間分　九〇錢
二週間分　一七〇錢
三週間分　二五〇錢
難治とせる中風諸症に亦動脈硬化症に偉効

淋病消渴の新藥　**トリックス**
一圓、二圓、三圓
重症用五圓、十圓

不思議な滋强靈液　**まむしのエキス**
大瓶五八〇瓦
入二圓
中瓶四〇〇瓦
入一圓五十錢

腎臟病の特効劑　大橋の　**西瓜糖**
一圓二圓三圓

以上は好評ある製劑であります
平町五丁目角
特約店　山野邊藥局
藥劑師　山野邊東次郎
（鉗康保險藥局）
◆藥事衛生上の御相談は是非弊店へ

社會式株同合產殖磐城

◆……營業概目
金錢ノ貸付、並ニ借入仲介
動產不動產ノ賣買仲介、債權債務ニ對スル相談、有價證券ノ所有並ニ賣買

◆……營業場所
石城郡平町字南町五十番地
電四六番

◆……營業時間
毎日午前九時ヨリ午後五時迄
但シ日曜祝祭日休業

社會百般の取引は盛く信用に基因することは今更贅言を要しません、ですから『信用とは末來に其義務を履行すべしとの他人に對する信認であります』故に現世他人を信認せずして取引を爲すもの幾人か？あるでしようか乍併人各々其面相の異なるが如く其觀察も又百態で決して同じではありません、されば凡俗の信認元より千差萬別たるを免れないのであります。

社會經濟組織の進歩は制度の完備信用益々發達を遂げることではありますが一朝にして之れが恐慌乃至は手違ひに遭遇すれば其弊害も又極めて廣汎激甚となるからして是等の**救濟**が急務となるのであります、此の生活苦は昔日の信用を裏切つて取引の不履行となり、此處に至て共存共榮の實を畢ぐるに支障せる難問題が幾多起つて來るのであります、先づ此の著しきものが**債權債務**の履行、或は延期事件だらうと存じます、我社は是が救濟解快整理を使命とし**秘密嚴守誠實本位且つ迅速**に交渉の任に當ります

次ぎに斯の如く荒み切つた社會の潮流に人生の苦難から其活路を開くべく所謂正義にして弱者の味方となるべく此處に**民衆的金融機關**として、當地方唯一の當會社が日掛なしくすしの營業です　是非御利用下さい

訴訟事件其他の法律事務は本社顧問辨護士數名之を擔當するのであります

燃料の大革命界

養蚕家の大福音、家庭嘉所の大々的節約
燃料經濟社製造の煉炭

◇主なる特徴
品質優良、絶對無煙、火付早く、火持好く、火力絶大臭氣なし、時間節約、價格低廉

◇主なる用途
養蚕、米穀乾燥、製糸、養鶏、事務室、料理店、製菓店其他一般家庭煮沸用

工場　平町六丁目
一手販賣元
磐城殖產合同株式會社
平町南町五〇
電話四六番